流し原稿　　　　　　　　　　　　　　　　２０２０年１０月１５日・埼玉県委員会

**メインスポット**

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

ご近所のみなさん、日本共産党です。

菅政権は、安倍政権を「継承」し、「自助・共助」を優先する政治を掲げています。

国民に「自己責任」を押し付けるだけの政治では、私たちのいのちと暮らしは守れません。日本共産党は、「政権構想」を示した本気の野党共闘をつくりあげ、来るべき総選挙で政権交代を何としても実現するために全力を挙げます。

菅政権による日本学術会議への人事介入と、同会議の在り方はまったく別次元の問題です。

日本共産党は、「学問の自由」を踏みにじり、日本学術会議法にも反する任命拒否を撤回するよう引き続き強く求めます。野党と力を合わせ菅首相の責任を厳しく追及していきます。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

消費税増税と新型コロナで落ち込んだ地域経済は、ますます深刻になっています。
日本共産党は、持続化給付金のさらなる支給とともに、消費税引き下げを強く求めていきます。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

集団感染を未然に防ぐため、医療、介護、福祉、保育など、ケア労働を担うすべての職員・関係者への、定期的なＰＣＲ検査を求めていきます。

減らされ続けてきた保健所を増やすよう力を尽くします。

【メインスポットを読む】

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。
医療崩壊をくい止めるために、病院への大規模な財政支援を、国に実施させましょう。

　国の責任で、医療機関で働く人たちへのさらなる処遇改善を強く求めます。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

学校のつめこみ授業やコロナ対応などで、不安やストレスを抱える子どもが少なくありません。

教員を大幅に増やし、２０人程度の少人数学級をぜひ実現させましょう。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

新型コロナの影響でバイトができず、日々の食事にもこと欠く学生が増え続けています。

大学授業料の半額免除、給付型奨学金の拡充など学生支援の強化を国に求めます。

【メインスポットを読む】

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

　来年度の防衛省予算が過去最大の５．５兆円にものぼる見通しです。一方で、新型コロナの影響による解雇者は６万人を超えています。

日本共産党は、軍事費を減らし、暮らしと雇用をしっかり支える予算へと見直すよう強く求めていきます。

◆ご近所のみなさん、日本共産党です。

新自由主義を乗り越えた新しい社会への展望を示す、多彩な記事が好評です。

くらしに役立つ「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひお読みください。